

グリーン成長推進パートナー概要【1】

(順不同)



合同会社GIN

合同会社GINは、2019年に設立されたGXコンサルティング企業です。私たちの使命は、温室効果ガス削減の見える化をサポートし、事業者がGXを効果的に推進するための手助けをすることにあります。エネルギー業界出身で経営コンサルティング経験もある代表の下、経営と環境の両軸で最適なアプローチを提供し、顧客が自らの環境目標を達成しPRするのを支援します。コンサルタント4名とアシスタント4名の体制で、サービスを展開し、スピード感と正確性を重視する働き方で、高い顧客満足度を実現しています。

今後はGX市場のさらなる拡大に対応し、温室効果ガスの会計士・税理士として業界をリードすることを目指しています。フルリモートでの柔軟な働き方を推進し、多様な人材の活躍を促進することで、持続可能な社会への貢献を目指しています。



株式会社三松

当社は地球の一部である金属を材料とした事業活動を行っていることを踏まえ、地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、経営の最重要課題の一つに位置付け、環境との調和に配慮した事業活動を推進することで住みよい環境の実現と次世代・次々世代への継承に貢献します。また、国際環境管理規格「ISO14001」を2005年に取得、SDGsの取り組みとして社内のCO2見える化の実施など、今後のカーボンニュートラル実現に向けた社会・環境への貢献活動を推進してまいります。



株式会社エルアンドエー

脱プラスチックについてはハンガーのリサイクルや洋服のビニール袋の回収などをおこなっています。また、VOC規制についてはタンブラー乾燥を行う際には回収乾燥機を使用し溶剤の回収につとめています。タンブラー乾燥できない商品についても新型の立体回収乾燥機を導入することでドライゾールについてはほぼすべて回収乾燥をおこなっています。



KAICO株式会社

KAICOは、『蚕で世界を変えていく。』というミッションのもと、難発現タンパク質の医薬品・診断薬・試薬を開発することを目的とした九州大学発のベンチャーです。蚕の体内で自在にタンパク質を作ることができるコアテクノロジーとして製薬会社等のパートナーと共に新薬を開発するという、ビジネスに挑戦しています。

タンパク質の原料となる蚕の餌は桑の葉。そのため我々の事業が伸長するには多くの桑の葉を必要とします。地方自治体と共同で耕作放棄地や中山間地に桑の木の植樹を行い、そして地域活性の一助となる養蚕業の復活を目指し、事業の拡大とカーボンニュートラルの実現に貢献して行きます。



エコワークス株式会社

福岡県に本社を置く木造注文住宅メーカー。エコ住宅の新築とリノベーション（性能向上リノベーション）の2事業で年間約90棟の住宅を届けている。社名である「エコワークス」を直訳すると「環境活動」。文字通り、事業を通じた環境貢献を理念としている。

今後も、2050年の脱炭素社会の実現に向け、国が目指す住まいづくりに合わせた「省エネ住宅（ZEH・LCCM住宅）」の普及・促進」に取り組み、家庭部門のCO2削減貢献に向けて取り組みを推進していく。さらには企業としての脱炭素経営にも力を入れ、Scope 1及び2の温室効果ガスの排出について、“2030年実質ゼロ”目標を設定し、「持続可能な企業」を目指している。



株式会社ヤマウ

株式会社ヤマウは、サステイナブルな社会の実現を目指し、ヤマウグループのブランドステイトメント「今日を支え、明日を創る。」を掲げ、コンクリート二次製品でGXに取り組んでいます。また、「a NET ZEROイニシアティブ」（コンクリートメーカーの脱炭素政策集団）へ参画し、業界全体でのNET ZEROを目指しています。